湧水だより

「内閣総理大臣賞　受賞記念号」

令和３年１１月２８日

渡里湧水群を活かす会

オンライン授賞式（１１月２２日）

市役所４階特設会場湧水の会役員

インターネット双方向通信回線

実際の明治記念館授賞式会場での篠原会長と賞状

現地調査～最低限の通行部分確保の準備期間

湧水量が多いことで一帯のすべてが湿地帯状態でした。

いたるところに枯竹が倒れ込んで通行ができませんでした。

一帯の現場確認（４月１０日）　　丸太橋製作（８月２３日）

秋に行った「現地見学会」によって会員を募集

現地見学会を開催（９月２８日）　地域住民をはじめとする多くの参加者

一列での通り歩き可能な状態に整備　安全を考慮して途中に係員を配置

全行程の５分の３地点にある水道管　田野川堤防記念撮影（参加者１２２名）

毎月第２日曜日を「湧水の日」として活動

第１回活動４月１２日参加者４８名

ゴミ拾いと粗大ごみの集積が中心

場所によってはジャングル箇所も

茨城大学のボランティアサークル

作業終了後のティータイム

大学生とご近所の皆さんの駐輪場

毎月５０名のボランティアが集合する組織

枯竹の伐採を開始（１０月１８日）

忘年会（１２月１３日）台渡里公民館

現在は親水池の場所（４月１０日）

砕石の敷設による遊歩道づくり

現地にて竈で茹で上げたジャガイモ

作業終了後の懇談と勉強会

活動当初より動植物の保護を考慮に入れながら活動

サワガニはたくさん生息しています

猛毒を持つマムシを捕獲

リング状のサンショウウオの卵

オニヤンマ（大型のトンボ）の羽化中

ウバユリ（姥百合）　地域内に群生

ニリンソウ（二輪草）現在３か所

昔は「田んぼ」であったところへ親水池の製作を開始

竹などの根っこを掘り出すのに大変

材料は無数にある竹を使用

手製のモッコで泥などを運搬

完成したばかりの親水池

案内看板とベンチを設置

通称は「ホタル池」と呼んでいます

令和元年には台風１９号の那珂川越水で混乱

令和元年の台風で一帯が完全に水没

その後残された大量の泥には失望

田野川の清掃活動も行っています

機械装置などのガレージも完成！

近い将来には竹林が完成するかも

竹チップの敷設を続けています

作業以外でのスナップ写真と笑顔いっぱい

わくわくプロジェクトプレゼン

大活躍の通称「ヤマペット」

作業終了後に全員集合！

緑地の保全と清掃活動部隊

ハッ場ダム視察（元年７月０５日）

粉砕機お披露目（元年８月１１日）